

航空輸送の安全にかかわる情報の中間報告（平成 21 年度上半期）（要約版）

1. 航空事故・重大インシデントの発生の概況

平成 21 年度上半期においては、本邦航空運送事業者の運航に伴う以下の航空事故及び重大インシデントが発生。

○ 航空事故（1 件）

平成 21 年 8 月 10 日、エアーニッポン機（B737-800 型）が鳥取空港を離陸し、東京国際空港 B 滑走路に着陸したが、到着後の点検の結果、機体尾部下面に大修理相当の損傷が確認され、また、東京国際空港 B 滑走路上に擦過痕が確認された。

○ 重大インシデント（1 件）

平成 21 年 7 月 23 日、ジャルエクスプレス 2200 便は大阪国際空港 B 滑走路へ着陸後、許可を得ないまま A 滑走路を横断し、当該滑走路に進入中であった日本エアコミューター-2400 便が管制の指示により着陸復行した。

2. 航空法第 111 条の 4 の規定による報告の概況

平成 21 年度上半期においては、本邦航空運送事業者から、航空事故 1 件、重大インシデント 1 件^{注 1)} 及び安全上のトラブル 411 件の合計 413 件の発生について報告。

注 1) 平成 21 年 7 月 23 日に発生した事案(重大インシデント)は、日本エアコミューターとジャルエクスプレスから報告があったが、ここでは 1 件として計上（以下の表では別々に計上したため件数が異なる）

表 1：事業者別報告件数

JAL グループ	ANA グループ	日本貨物 航空	スカイマーク	北海道 国際航空	スカイネット アジア航空	スターフライヤー	その他	計
166	135	11	26	9	39	22	6	414

表 2：機種別報告件数

B737	B747 (在 来)	B747 -400	B767	B777	A300 -600	A320	DC-9	DHC-8 (-400 除く)	DHC-8 -400	CRJ	ERJ 170	SAAB 340B	その 他	計
127	2	48	69	46	8	36	15	9	26	18	2	4	4	414

表3：安全上のトラブルの内容別分類件数^{注2)}

機材 不具合	ヒューマンエラー						回避操作		鳥等の外来物 による損傷	被雷	その他	計
	運航	客室	整備	地上 作業	設計 製造	その他	TCAS ^{注3)}	GPWS ^{注4)}				
181	20	7	15	1	6	1	115	9	23	26	7	411
	50						124					

注2) 分類別の件数は、今後の要因分析の進捗により変更されることがある。

注3) 航空機衝突防止装置の回避指示に基づく回避操作を表す。

注4) 対地接近警報装置の指示に基づく回避操作を表す。

3. 安全上のトラブルの評価・分析と今後の対策

第6回航空安全情報分析委員会において、平成21年度上半期の安全上のトラブル等について審議した結果、当該トラブル等に対し、関係者により必要な対応がとられており、引き続き適切にフォローアップを行っていくべきことが確認された。

また、今後とも、前回の第5回航空安全情報分析委員会（平成21年6月23日開催）において「安全性向上に向けた今後の取り組み」として確認されたとおり、航空安全情報管理・提供システム（ASIMS システム）を用いた予防的安全対策の推進、安全監査等を通じた監視・監督の強化、ヒューマンエラー防止対策の推進などの取り組みを継続する必要があるとの評価を受けた。